

議員活動報告

第11号 平成30年6月3日 発行

気仙沼市議会議員 熊谷雅裕

みやこや 熊谷まさひろ 事務所

気仙沼市高井21-5 0226-28-2938

平成30年5月17日と18日の二日間、臨時議会が開かれました。
今回の議会は選挙後最初の議会で、市当局からは議案7件、行政報告1件、報告6件、そして議員提案として5件(特別委員会の設置案件)が上程され、すべて原案通り可決されました。

新しい議会の構成

気仙沼市議会 (24名)	議長 菅原清喜(68)市民の声、	副議長 千葉慶人(54)未来
総務教育常任委員会(6名)	委員長 三浦由喜(69)市民の声、	副委員長 菅原雄治(54)未来
民生常任委員会 (6名)	委員長 村上進(公)(62)無会派、	副委員長 菊田 篤(51)未来
産業経済常任委員会(6名)	委員長 秋山善治郎(69)無会派、	副委員長 佐藤俊章(59)未来
建設常任委員会 (6名)	委員長 村上佳市(60)市民の声、	副委員長 今川 悟(43)未来
議会運営委員会 (8名)	委員長 白井真人(66)新風の会、	副委員長 小野寺俊朗(61)無会派
広報特別委員会 (5名)	委員長 村上進(公)(62)無会派、	副委員長 村上伸子(53)未来
大島架橋・唐桑最短道建設促進特別委員会(8名)	委員長 鈴木高登(55)市民の声、	副委員長 熊谷雅裕(66)無会派
三陸沿岸道建設促進特別委員会(8名)	委員長 高橋清男(72)無会派、	副委員長 三浦由喜(69)市民の声
議会改革調査特別委員会(24名＝全議員)	委員長 佐藤健治(51)新風の会、	副委員長 今川 悟(43)未来
東日本大震災調査特別委員会(24名＝全議員)	委員長 熊谷伸一(60)市民の声、	副委員長 村上進(社)(62)無会派
気仙沼市監査委員 及川善賢(55)未来、	県後期高齢者医療広域連合議会議員 村上進(公)(62)	
無会派、そして、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合議会議員に議長のほか5名が選出されています。		

今臨時議会は議長や各委員会の構成、委員長等を決める議会です。

5月1日に当選した議員が招集されて初顔合わせがあり、議員全体会議が行われ、新しい任期での初議会招集日等を決定し、新しい会派構成の届け出などがありました。

その時に届け出された会派は「市民の声8名」「未来8名」「新風の会4名」と会派に属さない議員「無会派4名」でしたが、後日「市民の声」から社民党議員2名が脱会して無会派となりました。自民党系の議員と一緒に会派を組んだことに対し、市労組などの支持者からの反発があったと新聞報道がありました。つまり「市民の声」は6名となり、無会派は公明党議員、共産党議員、社民党議員2名、高橋清男議員と私の6名となり、会派に属さずにそれぞれが独立して活動することになります。

5月17日に初議会が招集され、最初に議長、副議長の選出が行われました。

立候補したのは各1名で、新議長は有効投票数23票中22票、新副議長は24票中23票を獲得して選ばれました。事前の調整が上手く進んだ結果なのでしょうか、議長・副議長だけではなく、各委員会の構成や委員長、副委員長等が一部を除いてすんなりと決まりました。24名の議員は4つの常任委員会に6名ずつ配属され、特別委員会等は兼務するかたちになります。

気仙沼市議会議員選挙 開票結果

順位	得票数	氏名	年齢	所属	当選回数	前回順位	前回得票数	増減
1 当	2,041票	熊谷 一平 (38)		無新	①			
2 当	1,791票	秋山善治郎 (69)		共産現	③	4位	1,810票	－ 19
3 当	1,765票	村上 佳市 (60)		無現	④	6位	1,517票	＋248
4 当	1,680票	熊谷 伸一 (60)		無現	④	8位	1,279票	＋401
5 当	1,663票	村上 進 (63)		公明現	③	5位	1,636票	＋ 27
6 当	1,644票	白井 真人 (66)		無現	④	15位	1,206票	＋438
7 当	1,621票	村上 伸子 (53)		無現	①			
8 当	1,606票	佐藤 俊章 (59)		無現	①			
9 当	1,562票	菊田 篤 (51)		無現	②	1位	2,219票	－657
10 当	1,549票	三浦 友幸 (37)		無現	①			
11 当	1,324票	小野寺俊朗 (61)		社民現	④	12位	1,224票	＋100
12 当	1,310票	三浦 由喜 (69)		無現	③	14位	1,209票	＋101
13 当	1,215票	小山 和廣 (70)		無現	④	16位	1,148票	＋ 67
14 当	1,183票	今川 悟 (43)		無現	②	2位	1,834票	－651
15 当	1,177票	菅原 清喜 (68)		無現	④	18位	1,107票	＋ 70
16 当	1,171票	村上 進 (62)		社民現	③	11位	1,225票	－ 54
17 当	1,120票	佐藤 健治 (51)		無現	④	21位	1,011票	＋109
18 当	1,095票	小野寺 修 (64)		無元	③	26位	733票	＋362
19 当	1,077票	及川 善賢 (55)		無現	④	17位	1,147票	－ 70
20 当	1,031票	高橋 清男 (72)		無現	④	13位	1,215票	－184
21 当	1,029票	菅原 雄治 (54)		無現	②	9位	1,260票	－231
22 当	908票	千葉 慶人 (54)		無現	④	20位	1,051票	－143
23 当	897票	鈴木 高登 (55)		無現	④	10位	1,237票	－340
24 当	895票	熊谷 雅裕 (66)		無現	②	19位	1,103票	－208
25 次	769票	佐藤 仁一 (71)		無現		7位	1,304票	－535
26	298票	堺 健 (67)		無新				
27	100票	伊藤雄一郎 (50)		無新				

今回有権者数 55,437人 投票率 61.31% 有効投票数 33,528票 無効数 462票

前回有権者数 56,680人 投票率 58.25% 前回有効数 32,705票 無効数 312票

気仙沼市市長選挙 開票結果

当選 21,118票 菅原 茂 (60) 無現 ③ ・ 12,300票 斎藤巳寿也(53) 無新

今回有権者数 55,437人 投票率 61.31% 有効投票数 33,418票 無効数 572票

気仙沼市議会選挙を終えて

今回の選挙は市長選と市議選が同時に行われ、4月15日に告示され、4月22日に投票となりました。市長選は現職の菅原茂氏が3度目の当選を果たし、市議選は24名の当選が左記のとおりに決定しました。今回の選挙は現議員20名、元議員1名、新人6名が立候補し、24の議席を27名で争いました。その結果当選したのは現議員19名、元議員1名、新人4名で、トップ当選は新人でした。

おかしな？公職選挙法

公職選挙法とは公正な選挙を行うための法律ですが、経験すると「なんかおかしい」と思うことがあります。

- ① 戸別訪問等の事前運動は禁止されていますが、実際は候補者の顔写真、経歴等が載っているリーフレットを持って戸別訪問しています。そのリーフレットの最後には「後援会入会申込書」という欄があります。これがあると、選挙の事前運動ではなく「後援会入会勧誘という政治活動」となります。この政治活動が「選挙の事前運動となっている」のは明白で、「戸別訪問の禁止」は有名無実となっています。
- ② 告示前に「選挙に出ます」と言うのは許されて、その後に「宜しくお願いします」と言うのが選挙違反。お金をかけてリーフレットを大量に制作し何度も戸別訪問することが選挙違反にならず、何も持たずに戸別訪問し「宜しくお願いします」と言うのが選挙違反になる、というのはおかしい話です。
- ③ 選挙後に自筆の信書やネット等での当選御礼は良くて、たとえば私が出しているこの「議員活動報告」に当選御礼を書いて、新聞折込み等で配布すると選挙違反。
- ④ 葬儀の時、喪主として新聞にお知らせを出すときには名前が出せて、会葬御礼には名前が出せない。
- ⑤ 葬儀の時、お知らせをいただき、お供物料を出しても名前は張り出せない。
- ⑥ 葬儀の時、香典は持参しなければならず、「投げ悔やみ」は選挙違反。

これはほんの一例ですが、文書の配布、新聞広告、街頭演説、個人演説会、選挙事務所での接待等々に多くの規則があり、実情に沿わないものが多々あります。全面的に見直す時期だと思います。

投票は「地縁、血縁、義理人情」

4月28日の三陸新報「舌戦の舞台裏」に、旧市時代を含めて連続7期、議長も務めたベテラン議員のことが書かれていました。そこに「小山氏と親交があり、地盤を共にする境恒春県議が応援弁士として参戦」とありました。この市議は自民党で境恒春県議は民進党でした。地方選挙においては「候補者の主義・活動」は二の次で、「地縁、血縁、義理人情」が優先する、という選挙の実態が報道されていました。

市民の方々は「主義主張」、「地縁、血縁、義理人情」、「議会での発言や議員として活動」等々、様々な事由で責任を持って投票し、議員を選びました。選ばれた議員はこれからの4年間、市政の監視役として市民のために活動する責任があります。同じように市民の方々も「自分が選んだ議員」に対する責任があります。市民のために活動しているかを絶えずチェックして、歳費に見合う働きを求めてください。

投票率を上げるために何をすればよいのか

今回の投票率は61%で、2万人以上の市民が棄権しています。

お年を召して身体が不自由になり、投票に行きたくても行けない方々が多くなったと思います。投票箱を持って一軒一軒まわるわけにはいきませんが、その対策を講じるのも投票率向上につながると思います。

今回の選挙で、インターネットだけでの選挙活動に徹した新人候補者がおりました。今回の選挙に2万人以上の人達が投票に行かなかったのですが、その中で一度も投票したことがない若い人達の5%がインターネットの世界から出て投票を行えば、当選したかもしれません。インターネットで選挙活動ができるのであれば、投票もインターネットで出来ないものか、とも考えます。

市議会議員としての今後の活動

5月17日、18日の臨時議会で各委員会の所属が決まりました。

私は総務教育常任委員会(6名)、大島架橋・唐桑最短道特別委員会(8名)、議会改革調査特別委員会、東日本大震災調査特別委員会の各委員会に所属します。そして会派には入らず、独自に活動します。

みどりの真珠を守りたい！

来年3月に大島架橋が完成予定です。しかし開通しても道路は未完成です。

開通までわずか10か月しか残されていませんが、ウエルカムターミナルも駐車場もトイレも完成時期は未定です。大島には受け入れ態勢がまったく出来ていません。このままの状態
で開通すれば大混乱となり、島民の生活は破壊されます。私はその受け入れ態勢を少しでも
つくりたいのです。問題解決にむけて、県や市にこれからも働きかけていく所存です。

そして、小・中学校の統合問題があります。総務教育常任委員会を希望し委員となりましたのも、この学校統合問題があったからです。大島のこれからを考えたときに、学校がある
か無いかは大きく影響します。ご父兄の方々だけではなく、全島民がよく考えて議論し、「教育
環境はどうあるべきか」を決めていかなければなりません。そのために市当局、教育委員
会との話し合いに積極的に参加し、全島民の意向を伝えていきたいと思っています。

議員定数削減をめざします！

気仙沼市は財政的に危険水域に入っています。このままでは破産します。

行財政改革を進めなければなりませんが、その始めとして議員定数削減を提案します。
まず議員から範を示し定数を削減し経費を抑え、次に気仙沼市の行政組織を根本から見
直し、組織改革を断行して財政を立て直す。3年もすると補助金は大きく減少します。その
時では遅いのです。市税収入64億に対して、人件費が70億です。今から市職員は勿論、
市民も意識を変えて行財政改革に舵を切らなければなりません。議員の定数を削減するこ
とは小さな経費削減ですが、議員みずから身を切らなければ、行財政改革は進みません。